

生誕200年

椿 華谷—夭折の天才画家—

令和7年6月7日（土）～7月27日（日）

展示室      特別展示室

椿華谷(1825～1850)は椿椿山の長男。わずか9歳で渡辺華山へ入門し、「牡丹子母猫図」(当館蔵)などを描きましたが、26歳で死去。本展では、館蔵品を中心に椿華谷の画業を紹介します。

| 指定     | 作者                                                           | 作品名                            | 制作年         | 材質           | 形状  | 備考          |
|--------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------------|--------------|-----|-------------|
| 師、渡辺華山 |                                                              |                                |             |              |     |             |
|        | 渡辺華山                                                         | じゆいん ひ う ず<br>樹陰避雨図            | 江戸時代・文政年間   | 紙本墨画淡彩       | 掛幅  |             |
|        | わたなべかざん<br>渡辺華山                                              | みのかさかい が さん<br>蓑笠權画賛           | 江戸時代後期      | 紙本墨画淡彩       | 掛幅  |             |
|        | 渡辺華山                                                         | とうかじゃくほうず<br>藤花雀蜂図             | 天保10(1839)年 | 絹本着色         | 掛幅  |             |
| 重文     | 渡辺華山                                                         | ごくていそびようおよ きろく<br>獄廷素描及び記録     | 天保11(1840)年 | 紙本墨画<br>紙本墨書 | 卷子  |             |
| 父、椿椿山  |                                                              |                                |             |              |     |             |
| 重文     | つばき ちんざん<br>椿 椿山                                             | しょうしゅうずらくおよ しょうかん<br>小集図録及び書簡  | 天保11(1840)年 | 紙本着色         | 掛幅  |             |
|        | 椿 椿山                                                         | そ か の ず<br>蔬果之図                | 嘉永2(1849)年  | 絹本着色         | 掛幅  |             |
|        | 椿 椿山                                                         | たく か どうにちろく<br>琢華堂日録           | 天保4(1833)年  | 紙本墨書         | マクリ |             |
|        | 椿 椿山                                                         | たく か どうにちろく<br>琢華堂日録           | 天保14(1843)年 | 紙本墨書         | マクリ |             |
|        | 椿 椿山                                                         | かがんしゆくず<br>過眼縮図                | 天保11(1840)年 | 紙本墨画淡彩       | 冊子  |             |
| 椿華谷の画業 |                                                              |                                |             |              |     |             |
| 市指     | つばき けんきち<br>椿 顕吉写し                                           | つばきけいふならびにしょうじしふ<br>椿家系譜並東海林氏譜 | 明治時代        | 紙本墨書         | 卷子  |             |
|        | うえだもうしん<br>植田孟縉著<br>渡辺華山画ほか                                  | にっこうさんし<br>日光山志                | 天保8(1837)年  | 紙本墨摺         | 版本  | 岩鏡図を華谷が描いた  |
|        | つばき かこく<br>椿 華谷                                              | せつろこがんず<br>雪芦孤雁図               | 天保12(1841)年 | 絹本着色         | 掛幅  | 渡辺華山筆芦雁図の模写 |
|        | 椿 椿山<br>椿 華谷<br>小田莆川                                         | ごずいず<br>五瑞図                    | 天保12(1841)年 | 絹本着色         | 掛幅  |             |
|        | 椿 華谷                                                         | ごずいず<br>五瑞図                    | 天保13(1842)年 | 紙本淡彩         | 掛幅  |             |
|        | 椿 椿山<br>椿 華谷                                                 | ほうしょうず<br>放生図                  | 天保13(1842)年 | 紙本墨画淡彩       | 掛幅  |             |
|        | たかくあいがい<br>高久靄厓<br>椿 華谷<br>おだほせん<br>小田莆川<br>うぶかたていさい<br>生方鼎斎 | か き ず<br>花卉図                   | 天保13(1842)年 | 紙本墨画淡彩       | 掛幅  | 個人蔵         |
|        | 椿 華谷                                                         | かめ ず せんめん<br>亀図扇面              | 天保14(1843)年 | 紙本淡彩         | 額装  |             |
|        | 椿 華谷                                                         | ききよらいず<br>帰去来図                 | 弘化元(1844)年  | 絹本着色         | 掛幅  |             |
|        | 椿 華谷                                                         | せっちゅうろがんず も ほん<br>雪中芦雁図模本      | 弘化2(1845)年  | 紙本墨画淡彩       | 掛幅  | 渡辺華山筆芦雁図の写し |

|           |                                |             |        |     |     |
|-----------|--------------------------------|-------------|--------|-----|-----|
| 椿 華谷      | りゅうち ず<br>榴枝図                  | 弘化3(1846)年  | 紙本墨画淡彩 | 掛幅  |     |
| 椿 華谷      | りゅうとうそうじゃくず<br>柳桃双雀図           | 嘉永元(1848)年  | 絹本着色   | 掛幅  |     |
| 椿 華谷      | ぼたん し ぼねこず<br>牡丹子母猫図           | 嘉永2(1849)年  | 絹本着色   | 掛幅  |     |
| 画稿・粉本・手控帳 |                                |             |        |     |     |
| 椿 華谷      | か がんしゆくずだいいち<br>過眼縮図第壹         | 天保6(1835)年  | 紙本墨画淡彩 | 冊子  | 個人蔵 |
| 椿 華谷      | か がんしゆくずだい に<br>過眼縮図第貳         | 江戸時代・天保年間   | 紙本墨画淡彩 | 冊子  | 個人蔵 |
| 椿 華谷      | か がんしゆくずだいさん<br>過眼縮図第参         | 江戸時代・天保年間   | 紙本墨画淡彩 | 冊子  | 個人蔵 |
| 椿 華谷      | かこくせんせいしゆくずだいいち<br>華谷先生縮図第一    | 江戸時代・天保年間   | 紙本墨画淡彩 | 冊子  | 個人蔵 |
| 椿 華谷      | かこくせんせいしゆくずだいさん<br>華谷先生縮図第三    | 天保7(1836)年  | 紙本墨画淡彩 | 冊子  | 個人蔵 |
| 椿 華谷      | かこくせんせいこがしゆくずだい<br>華谷先生古画縮図第八  | 天保11(1840)年 | 紙本墨画淡彩 | 冊子  | 個人蔵 |
| 椿 華谷      | かこくせんせいこがしゆくずだい<br>華谷先生古画縮図第十一 | 天保11(1840)年 | 紙本墨画淡彩 | 冊子  | 個人蔵 |
| 椿 華谷      | つばぎしょうが ろく<br>椿 彰画録            | 江戸時代後期      | 紙本墨画淡彩 | 冊子  | 個人蔵 |
| 椿 華谷      | せんめん ず ふんぼん<br>扇面図粉本           | 天保4(1833)年  | 紙本墨画   | 掛幅  |     |
| 椿 華谷      | つばきちんざんぞうがこう<br>椿椿山像画稿         | 江戸時代後期      | 絹本着色   | 掛幅  |     |
| 椿 華谷      | ちようかんしゆうぎよずふんぼん<br>張貫之遊魚図粉本    | 天保8(1837)年  | 紙本墨画   | マクリ |     |
| 椿 華谷      | ききょらい ずふんぼん<br>帰去来図粉本          | 江戸時代後期      | 紙本墨画淡彩 | マクリ |     |
| 椿 華谷      | ちようしゆうこくすいぼくごせいず<br>張秋谷水墨五清図   | 江戸時代後期      | 紙本墨画   | マクリ |     |
| 椿 華谷      | が こう ふんぼんるい<br>画稿・粉本類          | 江戸時代後期      | 紙本墨画淡彩 | マクリ |     |

重文＝重要文化財 市指＝田原市指定文化財

表記のないものは当館所蔵

## 田原市博物館

### 椿 華谷 文政8(1825)年～嘉永3(1850)年

文政8(1825)年8月15日、江戸小石川に生まれました。父は椿椿山、母は太田徳水の娘登耶子。妻は椿蓼村の娘。名を彰、字を恒吉、号を華谷、尚古。天保4(1833)年10月11日、9歳の時に渡辺華山の画塾へ入門し、15歳の時に「華谷」という画号を華山より贈られました。椿山の後継者として期待されましたが、わずか26歳で夭折しました。

### 渡辺華山 寛政5(1793)年～天保12(1841)年

渡辺定通の長男として、江戸に生まれました。はじめ平山文鏡に師事し、白川芝山、金子金陵、谷文晁らに絵を学びました。華山は写実的な描写にこだわりました。特に肖像画を得意とし、西洋の陰影法を巧みに使い、独自の画風を確立しました。

### 椿 椿山 享和元(1801)年～嘉永7(1854)年

はじめ金子金陵に師事しました。金陵が亡くなった後、同じく金陵の門下であった渡辺華山の弟子になります。蛮社の獄で華山が逮捕された際は、その救済に奔走しました。華山没後は、華山の家族を献身的に支えました。花鳥画を得意とし、輪郭線を描かない方法で花卉図などを多く制作しました。

#### <参考文献>

- ・佐野美術館編『夭折の南画家』1991年
- ・増山禎之「夭折の天才画家 椿華谷」『田原市博物館研究紀要』第1号、2006年